

相続まちなかステーション開設2周年記念セミナー

たった4時間で書ける 『想いを伝える遺言書』講座

あなたと家族の未来を、遺言書を通じて一緒に考える

最近、テレビや新聞などで『エンディングノート』が流行していますが、それを見て実際にエンディングノートを書いた人はいますか。

- 独身（単身世帯）の方
- 離婚・再婚経験のある方
- 子のいないご夫婦
- 親が介護を必要としている方

特にこのような方々は、遺言書が将来の悩みを解決してくれることがあります。

遺言書を実際に作成してみることで、あなたや家族に起こりえるトラブルをどうやって事前に防ぐことができるのか、一緒に考えましょう。

予想すらしなかった人が相続人になったり 相続させたいと思う方が相続できないことがある

人が亡くなると同時に相続が開始します。

そして、遺言書がない場合には、誰が何を相続するかの話し合い、いわゆる遺産分割協議をしなければなりません。

人は誰しもある程度まとまった金銭を手にする可能性があるとなかなか冷静な話し合いができないものです。

しかも、相続に関わってくるのは、いつも身近に接している家族だけとは限りません。

舅や姑だけでなく義理の兄弟姉妹、さらには面識のない配偶者の先妻の子どもたちと話し合わなければならないこともあるのです。

それでも冷静・円満に話し合いができるという方はほとんどいないはずですよ。

しかし、遺言書さえあれば誰が何を相続するかの話し合い、いわゆる遺産分割協議をする必要がなくなります。

どうしても感情的に対立しやすい人たちが、どうやって残された財産を分けるか、話し合いをすることもなく、ほぼ遺言者の要望通り速やかに円満に相続手続きを進めることができるのです。

遺言書は、あなたがこの世を去った後で、残された方々を不毛な相続争いに巻き込まないための思いやりなのです。

遺言書の作成は人生を見つめ直し 自分と家族の未来を考えるよいチャンス

遺言書というと、『縁起でもない』あるいは『まだ早いのではないか』という答えがたくさん返ってきます。

しかし、元気な時だからこそ、いろいろなことに思いを巡らせてじっくり考えながら、あなたの思いがたくさん詰まった遺言書を書くことができるのです。

病院や施設に入ってから、じっくりと遺言など書く時間などありません。

遺言書を書くといっても、決して難しく考える必要などありません。

あなたの思いを伝えたい人を思い浮かべながら、まずは手紙を書くつもりから始めてみましょう。

また、あなたの気持ちや状況が変わった時には何度でも簡単に直すこともできます。

一度で完璧な内容のものを作ろうとしないことも実はいい遺言書を書くポイントなのです。

このように、遺言書を書くことで、これまでのあなたの人生を振り返りながらモノとお金を生前整理し、同時にあなたと家族の未来を再構築することができます。

元気なあなたこそ、この機会に一緒に遺言書を書いてみましょう。

『想いを伝える遺言書』講座

日時：【第1回】 9月22日（土）午後2時～午後4時30分

基礎編 | 老い支度の必要性和基礎知識

- 遺言書の基礎知識
- 遺言書でできること、できないこと
- 争いの起きる遺言書、起きない遺言書

【第2回】 10月13日（土）午後2時～午後4時30分

実践編 | 今できるあなたの老い支度をカタチに

- 人生を振り返える
- 自筆証書遺言の作成
- 遺言書の保管方法

場所：平塚市勤労会館

平塚市追分1-24

- 平塚郵便局北側・平塚市中央公民館奥隣り
- 平塚駅北口・西口より徒歩15分
- <http://www.scn-net.ne.jp/~kaikan/annai.html>

参加費：3,000円

申し込み方法：フリーコール（通話料無料）または、メールにて

- フリーコール **0800-123-0913**
- メール **mail@machinakastation.com**

募集人数：8名（先着順）

参加特典：厳選遺言セットプレゼント（定価3,700円相当）

- 遺言書キット（遺言書虎の巻ブック付き）
- 想いが通じる遺言書の書き方（単行本）